

『とやまガラスプレート』を
商品化。



板ガラス加工の(株)吉森ガラスが、富山県をかたどったガラス皿を商品化。レストラン、寿司店などを対象に販売を始めた。同社の特長は、板ガラスを自在な形状に繊細にカットできる加工技術。「とやまガラスプレート」を皮切りに、テーブルウェアやハウスウェアなど新分野での需要開拓に挑む。

『SA・PAメニューコンテスト』で最優秀賞グランプリ受賞を演出

2017年2月、NEXCO 中日本等の主催で SA(サービスエリア) レストランの料理コンテスト「SA・PAメニューコンテスト」が開催され、ホテルニューオータニ高岡が経営する北陸自動車道・有磯海SAが「最優秀グランプリ」を獲得した。このメニューを演出したのが、富山県をかたどったガラス皿「とやまガラスプレート」だ。

観光ニーズを想定し商品開発

このプレートを製作したのは、建築用窓ガラス加工などを業務としてきた(株)吉森ガラス(魚津市)。同社のセールスポイントは、NC加工機を使って板ガラスを自在に加工できる技術。建築以外の分野でも発揮できる用途を模索していたところ、新幹線開通によって急増している観光ニーズを想定し商品開発を進めた結果、富山県をかたどったガラス皿に行き着いた。

2016年には試作品を製作。富山県観光課や総合デザインセンターのアドバイスを受け、県産商組合がはじめたキャンペーン「富山湾鮎」用の寿司皿として改良を重ね商品化に至った。その後、ホテルニューオータニ高岡がこのユニークな形状の皿に着目、有磯海SAに導入し、今回のグランプリ受賞につながった。

繊細な加工技術、どのような形状も自在に加工

とやまガラスプレートは一人用のものから、プuff用までS、M、L、3種類の大きさをラインナップ。厚みはいずれも、強度と扱いやすさを考慮し5mmとした。製作方法は、規格サイズの板ガラスをNCマシンで何段階にもわたって削り出していく。割れやすいため、最初は大まかな形に削り、次第に切削工具を繊細なものに取り替えながら仕上げていく。仕上がったプレートの底には、扱いやすいようにガラスボールが接着されているが、テーブルに置いたときガタつかないように、コンマ数ミリ単位の加工精度が要求される。

同社ではこうしたガラスの加工技術を活かして、テーブルウェアやハウスウェアなどの分野での商品開発を目指しており、さまざまな企業とのコラボレーションも考えている。

◆とやまガラスプレート仕様

品名	色	サイズ(cm)	重さ(kg)	1ケース入数	小売参考価格(円/枚)
とやまガラスプレートS	クリア	30×27×1.5	1.5	5枚	5,000
とやまガラスプレートM	クリア	50×47×1.5	3.0	1枚	20,000
とやまガラスプレートL	クリア	90×80×4.0	18.0	1枚	35,000

◆発注・納品について

発注単位	S5枚～、M1枚～、L1枚～
発注方法	TEL・FAX・Eメール
納期	注文後1～2週間
支払方法	ご相談に応じます
個別仕様	数量、形状などご相談に応じます

問合先 株式会社 吉森ガラス
富山市上富居1丁目3番6号
TEL (076)4413010
FAX (076)4418659
E-mail yoshimori-g@arion.ocn.ne.jp